

広報

おばま

2012

5

《表紙》

大相撲若狭小浜場所で行われたちびっこ稽古相撲。市内外の小学生約20人が大関琴欧州ら幕内力士3人に挑戦しました。正面から突進しながらも、大きな体で軽々と受け止められ、観客からは笑いと拍手が巻き起こりました。

(4月4日)



【特集】 防災メール配信サービス開始！

①「メール配信申込み」メニューを選択します。

小浜市防災メール

小浜市防災メールとは
メール配信申込み
メール配信確認・変更
メール配信解除
配信情報
サイトポリシー
お知らせ

小浜市

②申込み用メールアドレス(bousaiobama@entry.mail-dpt.jp)へ空メールを送信します。

小浜市防災メール

メール配信申込み
空メールの送信による登録
手続きが可能です。
下記のメールアドレス宛へ
空メールをお送り下さい。
自動返信されますメール内
容をお読みになり登録作業
を行ってください。

bousaiobama@entry.mail-dpt.jp

小浜市

③仮登録受付メールが自動的に返信されます。メール本文内URLへWeb接続します。

小浜市防災メール本登録のお願い

小浜市防災メールの仮登録を受け付けました。
お手数ですが、このメールを受信された時間から30分以内に、下記のURLをクリックし、本登録を行ってください。
本登録完了後、サービス利用開始となります。
よろしくお願い致します。

http://bousaiobama.mail-dpt.jp/sitepolicy.php?id=*****&add_real_flg=on

小浜市

④「サイトポリシーを確認する」リンクを選択します。

小浜市防災メール

本登録を行うには、サイトポリシーに同意をしていただく必要があります。

サイトポリシーを確認する

| 同意する |

小浜市

⑤サイトポリシーを確認し、「戻る」リンクを選択します

小浜市防災メール

サイトポリシー
【小浜市防災メール利用規約】
必ずお読みください。
・小浜市防災メール（以下「本サービス」という。）は、防災情報等をメールでお届けする配信サービスですが、発生した事象の速報性により、配信内容に誤りや遅延が生じる場合があります。
・本利用契約は、利用者への予告なく追加・変更・削除する場合があります。
| 戻る |

小浜市

⑥「同意する」リンクを選択します

小浜市防災メール

本登録を行うには、サイトポリシーに同意をしていただく必要があります。

サイトポリシーを確認する

| 同意する |

小浜市

⑦「防災情報」配信を希望する場合は「配信を希望する」にチェックを付け「次へ」ボタンを選択します

小浜市防災メール

配信を希望する項目にチェックを入れてください。

防災情報
☒ 配信を希望する

次へ

小浜市

⑧「防犯情報」配信を希望する場合は「配信を希望する」にチェックを付け「確認」ボタンを選択します

小浜市防災メール

配信を希望する項目にチェックを入れてください。

防犯情報
☒ 配信を希望する

確認
戻る

小浜市

⑨内容を確認し「登録」ボタンを選択します

小浜市防災メール

以下の条件にて登録します。
間違いがなければ「登録」ボタンを押してください。

防災情報
・ 配信を希望する
防犯情報
・ 配信を希望する

登録

戻る

小浜市

⑩登録完了画面が表示されます。

小浜市防災メール

登録しました。

小浜市

⑪登録完了通知メールが自動的に返信されます。

小浜市防災メール本登録完了のお知らせ

小浜市防災メールに貴方のメールアドレスを登録しました。

《小浜市防災メール》
http://bousaiobama.mail-dpt.jp/

小浜市

※以上で登録完了です

※②で空メール送信後③の仮登録受付メールを受信できない場合は、ご利用携帯の迷惑メール防止設定内容をご確認ください。(以下送信元(From)メールアドレスから配信されるメールを受信できるよう設定内容をご確認ください)

【送信元アドレス】
info@bousaiobama.mail-dpt.jp

両方の活用を

市では、昨年8月からNTTドコモに加えて、KDDIおよびソフトバンクモバイルの同様のサービスも導入しました(サービスの特徴や対応機種、受信設定など詳しくは各携帯電話会社のホームページをご覧ください)。

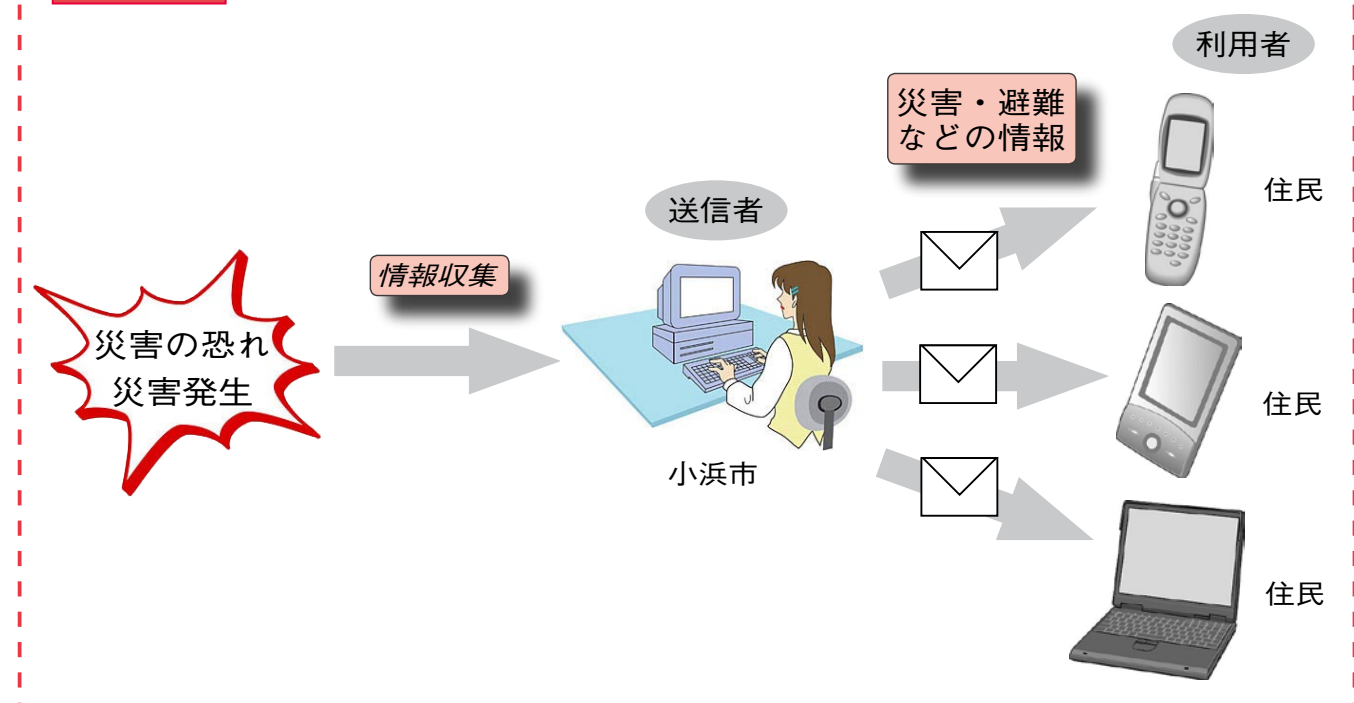
災害発生時には、情報を正確に入手し、いかに被害を最小限にとどめるかということが重要です。このことから、市では、小浜市防災メールとエリアメールなどの両方の活用をお勧めしています。

■問い合わせ
生活安全課 ☎内線 473

防災情報をメールでお知らせします 防災メール配信サービス開始！



イメージ図



登録方法

次のウェブサイトへ直接アクセスするか、次のQRコードを読み取ってアクセスし、「仮登録」の手続きを行ってください。

※QRコードを認識できるカメラ付き携帯電話で下記の図形を読み取ってください



http://bousaiobama.mail-dpt.jp/

仮登録されたメールアドレスあてに本登録の手順を案内します。サービスの開始は本登録完了後となります。

なお、本登録は、サイトポリシー(小浜市防災メール利用規約)への同意が必要です。

※パケット通信料など通信に係る経費は、利用者(登録者)の負担となります

※振込詐欺などの防犯情報も配信します

H 23.10.8~9 心を結ぶ 未来へのつどい

記念式典には、多くの関係者にご出席いただき、本市の新たな第一歩を祝いました。このほか、「食のまつり」や「エコ & クリーンエネルギーフェスタ」など、さまざまなイベントを開催し、多くの人でにぎわいました。



記念式典（文化会館）



子ども1日店長（はまかぜ通り商店街）



エコ & クリーンエネルギーフェスタ（濱参道）



食のまつり（白鬚特設会場）



秋の大茶会（栖水館・濱参道沿い）



（市民体育館）

H 23.11.5 スポーツフェスタ「ソフトバレーボール大会」

誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツの祭典として、本市が発祥であるソフトバレーボール大会を開催しました。子どもからお年寄りまでで構成された、18チーム 180人が参加し、会場は、市民をはじめ、嶺南市町からの多くの参加者で熱気にあふれました。

これら以外にも次のような事業を実施しました

- 赤い車 60 台パレード（H23.7.16）
- 米村でんじろうサイエンスショー（H23.8.24）
- 大河ドラマ「江」関連イベント（H23.4~10）
- 食文化館の戦国時代《戦国時代の料理レプリカ展示ほか》（H23.10.10）
- NHK 公開番組「歌の散歩道」（H23.10.21）
- 恋活イベント ROSSO・ROSSO（ロッソ・ロッソ）（H23.10.29）
- 小浜であそぼ 街なか・おりえんてえりんぐ（H23.10.30）
- 市民提案型助成事業（とびだせ絵本“子ども文化向上事業”、常高院に献花、山川登美子記念短歌大会、北前船小浜寄港、市制 50 周年記念曲「この風を感じて」に歌詞を！）



記念事業を振り返って…

平成 23 年度は、第 5 次総合計画に掲げる「協働のまちづくり」のスタートの年であり、東日本大震災以降、人と人とのつながりや絆が見直される中、テーマを「結（ゆい）」として記念事業に取り組みました。各種イベントなどを通して、市民をはじめ、さまざまな団体や事業者との結びつきを再確認することができ、本市が進めている「オール小浜体制」を作り上げていくための契機になったのではないのでしょうか。

H 23.7.10 ハイウェイウォークおばま

初夏の青空の下、開通前の舞鶴若狭自動車道小浜 IC から南川橋までの往復約 7 ㎞の区間を、参加者は、心地よい汗をかきながら楽しく歩きました。家族や友人、子どもからお年寄りまで約 1,500 人の参加があり、二度とない体験を楽しみました。



（舞鶴若狭自動車道小浜 IC 入り口付近）

H 23.6~10 赤い花いっぱい運動

60 周年記念事業のイメージカラーの「赤」でまちをいっぱいにしようと、市民や花運動推進グループ、各地区の関係団体など総勢約 250 人が協力し、沿道や各家庭・公共施設の玄関などに、赤い花のプランターを設置。市内全域を赤い花で彩りました。



（若狭東高等学校）

H 23.8.16 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

子どもからお年寄りまで、幅広い世代の人たち約千人が参加し、朝のラジオ体操を行いました。早朝のすがすがしい空気の中、気持ちよく体を動かしました。



（中央グラウンド）

H 23.8.23 We Love OBAMA 発表会

市内中学校 2 校の 1 年生 4 チームが参加し、市役所の本会議場で、市長や議長などを前に、『将来の小浜』をテーマにまとめた中学生ならではのアイデアを発表しました。



（市役所・本会議場）

ひとりひとりが心を結んだ 市制施行60周年記念事業

市では、市制施行60周年を迎えた昨年、「結（ゆい）」～人・まち・自然・文化 すべてを結んで未来へ～」をテーマに、さまざまな記念事業を実施しました。皆さんのご協力により、すべての記念事業を無事終えることができました。ありがとうございました。

人事異動



辞令交付式で宣誓する窪田栄利香さん

市では、4月1日付けで人事異動を行いました。
今回の人事異動では、まず、「行政のスリム化」を図るため、職員数を削減。また、喫緊の行政課題に対応するため、課・グループの統廃合を進めました。
さらに、女性職員の管理職などへの登用を積極的に行うとともに、国からの受け入れや福井県への派遣などの人事交流も引き続き行いました。

主な内容

- ①職員数の削減
前年度と比べ11人削減し、296人になりました。
- ②組織体制の見直し
●市内の商工業の発展と観光交流人口の増加とは密接な関係があること、また、観光宣伝・物産展などを新たな企業誘致戦略や商工業の活性化につなげていくため、「商工振興課」と「観光交流課」を統合し、「商工観光課」としました。
●小浜市の特産品の開発や販路の開拓などにおいて、生産者や商工業者への指導を行うとともに、各協同組合や法人などとの連携を図り、六次産業化を推進していくため、農林水産課内に「六次産業推進グループ」を設置しました。
●少子化が進む中、少子化対策事業と児童保育事業は、仕事と子育ての両立などにおいて関連性が大きいことから社会福祉課内の「少子化対策グループ」と「児童保育グループ」を統合し、「少子化対策・児童保育グループ」としました。
また、児童・発達障がい児などの相談支援や保育園と連携した支援などに積極的に取り組むため、社会福祉課内に保健師を配置しました。
- ③女性職員の登用状況
●女性の管理職およびグループリーダーへの積極的な登用を行いました。本年度は新たに課長職1人、課長補佐職3人の合計4人を登用しました。
- ④国・県などとの人事交流
●国との人事交流は、受け入れを継続しました。引き続き農林水産省からの派遣を受け入れ、農林水産課長に配置しました。
福井県との人事交流については、平成24年度も福井県へ1人を派遣し、継続1人と併せ2人の派遣となりました。
- 小浜市の中心市街地を含む将来的なまちづくりや、いづみ町道路拡幅事業などを推進するため、都市整備課内の「計画・整備グループ」を分割し、「計画グループ」（主にソフト事業担当）および「整備グループ」（主にハード事業担当）として事務体制の強化を図りました。
- 地域防災計画の見直しや防災無線の整備など防災体制の強化を図るため、生活安全課に職員1人の増員を行いました。また、「協働のまちづくり」について市民・団体・事業者・職員などへの浸透を図り、施策を展開させていくため、市民協働課に職員1人を増員しました。

異動は、部長級3人、部次長級5人、課長級4人を含む104人です。
（ ）内は旧任・旧所属。GLはグループリーダー。

■部長

- 総務部長 西尾清順（産業部長）
- 民生部長 坪内定和（産業部次長兼商工振興課長事務取扱）
- 産業部長 井上助博（教育委員会事務局部次長兼生涯学習スポーツ課長事務取扱）

■部次長

- 総務部▼部次長兼総務課長事務取扱 仲野郁夫（民生部次長兼健康長寿課長事務取扱）
- 産業部▼部次長兼商工観光課長事務取扱 竹田茂芳（産業部次長兼観光交流課長事務取扱）
- ▼部次長兼農林水産課長事務取扱 河野研（農林水産省）
- 会計管理者兼会計課長事務取扱 滝口克巳（総務部次長兼総務課長事務取扱）

■課長

- 企画部▼食のまちづくり課長 北野絹子（文化課・主幹）
- 民生部▼健康長寿課長 松井俊樹（環境衛生課・主幹）
- ▼市民課長

小南弘幸（食のまちづくり課長）
●教育委員会事務局▼生涯学習スポーツ課長 大岸美由紀（市民課長）

■主幹

- 総務部▼総務課GL 岩滝満彦（農林水産課GL・課長補佐）
- ▼税務課GL 大下雅章（財政課GL・主幹）
- ▼生活安全課GL 成田浩二（福井県警察本部）
- 企画部▼市民協働課GL 濱中睦美（市民協働課GL・課長補佐）
- ▼食のまちづくり課GL 松川雅弘（食のまちづくり課GL・課長補佐）
- 産業部▼都市整備課GL 西島清康（監査委員事務局・主幹）
- ▼上下水道課GL 地村敏幸（総務課GL・主幹）
- 教育委員会事務局▼教育総務課GL 古田幸志（福井県教育委員会）

■課長補佐

- 企画部▼企画課GL 今村昭広（税務課）
- ▼市民協働課GL 大山孝幸（都市整備課）
- ▼財政課GL 橋本敏博（嶺南広域行政組合派遣・課長補佐）
- ▼同課GL 山口久範（上下水道課）
- 民生部▼松永保育園長 小林美希（小浜第一保育園）
- ▼遠敷保育園長 車田民江（口名田保育園長）
- ▼口名

■企画主査・主査・主事

- 総務部▼総務課 藤本雅樹（健康長寿課）
- ▼同課 池野はるか（財政課）
- ▼税務課 西本喜代美（環境衛生課）
- ▼同課 内田靖彦（総務課）
- ▼同課 河野泰和（監査委員事務局）
- ▼同課 坂上文紀（社会福祉課）
- ▼同課 秦裕二（都市整備課）
- ▼生活安全課 奥城直喜（企画課）

- 企画部▼企画課 森川澄子（食のまちづくり課）
- ▼市民協働課 藤井多香子（商工振興課）
- ▼同課 松原拓也（観光交流課）
- ▼財政課 小笠

原房子（図書館）- ▼食のまちづくり課 中野愛佳（健康長寿課）
- 民生部▼社会福祉課 緩詰真由美（健康長寿課）
- ▼同課 建矢智司（生涯学習スポーツ課）
- ▼母と子の家児童発達支援センター 大黒美穂（小浜第一保育園）
- ▼小浜第一保育園 山田陽子（加斗保育園）
- ▼同保育園 新谷智子（母と子の家児童デイサービスセンター）
- ▼宮川保育園 川越麻美（内外海児童センター）
- ▼口名田保育園 堂下友紀（中名田保育園）
- ▼中名田保育園 内角あすか（宮川保育園）
- ▼加斗保育園 政中真由（口名田保育園）
- ▼内外海児童センター 松井由佳（雲浜保育園）
- ▼健康長寿課 松葉美紀子（市民課）
- ▼同課 出口尚子（生涯学習スポーツ課）
- ▼環境衛生課 畑中三枝（企画課）
- ▼同課 竹浦大輔（税務課）
- ▼同課リサイクルプラザ 岡寿郎（税務課）
- ▼市民課 森達郎（農林水産課）
- ▼同課 前田茂宏（上下水道課）
- ▼同課 竹内桂子（総務課）

- 産業部▼商工観光課 大山祐子（社会福祉課）
- ▼同課 奥村直己（農林水産課）
- ▼農林水産課 大谷拓也（税務課）
- ▼同課 的場貴志（上下水道課）
- ▼同課 藤田正徳（文化課）
- ▼都市整備課 田中勝雄（農林水産課）
- ▼同課 藤田卓弥（福井県派遣）

JR 小浜線利用促進助成

2つの助成が加わります

近年、少子化などの影響で、乗車人員が減少傾向にある JR 小浜線。同線は、
嶺南 6 市町を結ぶ唯一の公共交通機関です。

市では、JR 小浜線の利用を促進するため、現在実施している 2 つの利用促進
助成に加え、本年度から新たに 2 つの助成を追加しましたのでお知らせします。
助成制度を活用し、JR 小浜線を利用しましょう。

■問い合わせ 企画課 ☎ 内線 345

◇ JR 小浜線利用促進助成一覧

補助内容	対象者	補助額	限度額など
団体利用者の助成 (8 人以上の団体)	市内在住者または 市内勤務者など	団体割引後の料金の 20%	片道 400 円 / 人
無料駐車場の提供	定期乗車券購入者 往復乗車券購入者	駐車料金の 100% 駐車料金の 100%	16 時間以内
新 回数乗車券の助成	市内在住者	回数乗車券の料金の 10%	1,000 円 / つづり
新 スタンプカード キャンペーン (4 月 28 日より実施)	市内在住者または 市内勤務者	スタンプが 10 個たまると次のいずれ かの券として使用できます ①濱の湯入浴券 (1 回分) ②濱の四季 500 円割引券 ③道の駅「若狭おばま」500 円割引券	

※スタンプカードは、小浜駅、東小浜駅、加斗駅、濱の湯、濱の四季、道の駅「若狭おばま」、その他公共施設に
あります (スタンプは小浜駅、東小浜駅、加斗駅で普通乗車券を購入するごとに 1 個押印)

マナーを守って正しい乗車を !!

電車に乗るときは、マナーを守り、「小浜線
の乗車客のマナーは素晴らしい」と言われるよ
うな路線をめざしましょう。具体的には次のよ
うなことに注意しましょう。

- お年寄りや体の不自由な人には座席を譲りま
しょう (特に優先座席は気をつけましょう)。
- 座席以外の所への座り込みはやめましょう。
- 荷物は座席に置かないようにしましょう。
- 切符は正しく買いましょう。

JR 小浜線を利用しましょう



▼上下水道課 上村基(農林水産課)
▼同課 片岡稔博(税務課) ▼同課
小浜浄化センター 大西博司(市民
課) ▼会計課 大和美香(社会福祉課)
●議会事務局 ▼議会事務局 瀬尾光
博(市民協働課)
●監査委員事務局 ▼監査委員事務局
松山辰紀(教育総務課)
●教育委員会事務局 ▼教育総務課
三島洋娘(福井県教育委員会) ▼同
課 領家光章(観光交流課) ▼生涯
学習スポーツ課 田中陽子(健康長
寿課) ▼同課 竹内彰朗(市民課)
▼文化課 地村保志(農林水産課)
▼図書館 石倉淑美(市民協働課)

■派遣
▼嶺南広域行政組合《課長補佐》
和久田恒義(上下水道課 GL・課長
補佐) ▼福井県 松見和行(都市
整備課)

■新採用
▼税務課 高垣智一 ▼社会福祉課
山崎憲司 ▼同課 近江美奈江 ▼小浜
第一保育園 島崎美弥 ▼雲浜保育園
窪田栄利香 ▼健康長寿課 高岸真理
子 ▼同課 重田朋子 ▼商工観光課
川口智明 ▼農林水産課 山崎洋裕 ▼
同課 島田貴正 ▼都市整備課 森下
泰裕 ▼上下水道課 川元健 ▼小浜

幼稚園 小堂友里花 ▼文化課 橋本
明博

■退職
▼塩野喜一郎(総務部長) ▼江見敏
(民生部長) ▼木橋智明(会計管理
者兼会計課長事務取扱) ▼山本昌成
(上下水道課主幹) ▼増田吉裕(税
務課主幹) ▼橋本明美(遠敷保育園
長) ▼宮川鶴綱(企画課課長補佐)
▼平井敬子(都市整備課企画主査)
▼林久美子(生涯学習スポーツ課企
画主査) ▼中嶋和枝(雲浜小学校業
務指導員) ▼寺井千寿子(小浜第二
中学校業務指導員) ▼吉田和子(西
津小学校業務指導員) ▼田中初美(加
斗小学校業務指導員) ▼藤本堅一(議
会事務局自動車運転手) ▼西村芳子
(小浜中学校業務指導員) ▼池田美
知栄(口名田小学校業務指導員) ▼
横山雅子(遠敷小学校業務指導員)
▼高田紀美江(小浜小学校業務調理
員) ▼岡田一枝(国富小学校業務調
理員) ▼原田節枝(田島小学校業務
調理員)
▼農林水産省復帰 井上崇(政策幹
兼農林水産課長事務取扱) ▼経済産
業省復帰 井上満夫(商工振興課主
幹) ▼福井県教育委員会復帰 森田
崇(教育総務課主幹) ▼同復帰 山
名聡(教育総務課)

市長訓示

「テンシユカク」と「ハウレンソウ」

今年は、小浜市にとって重要
な年。昨年は市制 60 周年。今年
は第一歩を踏み出す年である。
舞鶴若狭自動車道が 2 年後に
開通するが、小浜市が通過点に
なる可能性がある。その時に、
小浜市をいかに魅力的なまちに
しておくかが重要。残り 2 年の
うちに輝ける小浜市を作ってい
くのが私たちの使命である。
公務員を取り巻く環境は厳し
い。大阪市の橋下市長は非常に
厳しいことを言っている。4
段階で人事評価をし、D ランク
が 2 年続くと免職になる。そう
いった流れがあることを頭に入
れておかなければならない。全
力を取り組んでいただきたい。
小浜市は、第 5 次総合計画で
市民協働をうたっている。「協
働のまちづくり基本指針」もよ
うやくできた。対等な立場で地
域と一しよになって頑張っ
てほしい。
職員を各地域に派遣するとい
う事業を打ち出したところ、市

民の皆さんから期待の声が集
まっている。役所の職員が持つ
ている情報や人脈を活用できる
ことを非常に期待している。
ハウレンソウ(報告・連絡・
相談)も重要だが、明治大学の
斎藤孝さんは「テンシユカク(天
守閣)」ということ言っている。
『テン』は、テンション高くあ
いさつをする。『シュ』は過ちを修
正する。上司、友人などからこ
うした方が良くと言われた時に、
いち早く修正するということが
ある。そして、『カク』は確認。
これで良いと思っても最後にも
う一度確認するということがあ
る。わたしもいろんな失敗をし
ているが、確認をした時は失敗
がない。「ハウレンソウ」と「テ
ンシユカク」、この 2 つを頭に置
きながら仕事をしてほしい。
仕事を一生懸命し、それを達
成したとき、必ず感動が生まれ
る。『夢、無限大』感動おばま』
に向かって皆さんの奮起を心か
らお願いしたい。